



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 石井食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）石井 智康

問合せ先責任者 （役職名）執行役員コーポレート部経理グループマネージャー （氏名）村上 樹生 TEL 047 (774) 8748

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	5,440	0.7	221	150.1	218	121.6	151	339.6
2025年3月期中間期	5,403	4.9	88	△73.9	98	△72.4	34	△81.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 239百万円（715.4％） 2025年3月期中間期 29百万円（△89.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	9.12	—
2025年3月期中間期	2.07	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	7,965	4,024	50.5
2025年3月期	7,657	3,851	50.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,024百万円 2025年3月期 3,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	11,200	3.0	250	△6.6	280	△9.6	209	△27.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料 9 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	18,392,000株	2025年3月期	18,392,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,745,281株	2025年3月期	1,745,203株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	16,646,731株	2025年3月期中間期	16,677,002株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、継続的な物価上昇の影響により、消費者の生活防衛意識や節約志向は依然として根強く、個人消費の本格的な回復には時間を要する状況が続いております。また、資源・エネルギーコスト・物流費等は政府による価格高騰対策の影響もあり一時的に抑制されましたが、本質的な高止まり傾向は継続しており、依然として厳しい事業環境状況が続いております。

このような環境の中、当社では中期経営計画（2022年度-2026年度）において、ISHII VISION 2030「農と食卓をつなぎ、子育てを応援する企業に」を掲げ、「子育て」を中心に家族の様々な生活シーンを支え、ライフスタイル変革につながる食サービスの最大化と着実な実行に向けた取組みを推進しております。

主力の食肉加工品につきましては、2025年3月に実施した価格改定後もお弁当における定番商品として根強く売上高は堅調に推移いたしました。前述の節約志向の流れを受けて価格訴求の動向が強まる中、イシイのチキンハンバーグ55周年キャンペーンや生協チャネルへの販売促進に注力し、お弁当のみならずあらゆる食シーンで利用できる価値訴求を行いました。

地域商品につきましては、価格改定の影響や生産量の減少を受けた商品があり、売上高は減少しております。一方で、私市醸造(株)と連携した創業以来初のドレッシング商品「館玉ねぎのごちそうドレッシング」を発売し、当社の思いや製造へのこだわりと親和性のある企業と提携した取組みが実現いたしました。

惣菜カテゴリにつきましては、猛暑及び残暑が長引いたことにより、これまで9月を販売の中心としていた栗ごはんを中心に販売時期を後ろ倒しするなどの影響があり、売上高が減少しております。

非常食をはじめとする常温商品につきましては、一般家庭における災害備蓄やローリングストックのほか、アウトドアでの活用も可能であることを強みに認知拡大を目指しております。期間別の販売実績で見ると災害発生件数やそれに伴う防災意識の高まりの影響を受ける一面はありますが、防災体験とアウトドア体験を組み合わせた防災イベントを開催するなど、日々の暮らしにおける「おいしい」と防災への備えを両立する取組みを積極的に推進しております。

コスト面につきましては、原材料、エネルギー費用及び物流費等の高騰への対応として、経営主導で抜本的な生産計画の効率化を実施いたしました。「残業ありき」の生産体制から脱却すべく、生産計画の早期策定や生産ライン切替時間の削減を実行したほか、ロボット化による省人化や老朽設備刷新に伴う生産効率向上により、残業は前年比で49%削減、エネルギー使用効率は7%改善いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は54億40百万円（前年同期比36百万円増）となり、売上総利益は19億25百万円（前年同期比1億51百万円増）となりました。販売費及び一般管理費は17億4百万円（前年同期比19百万円増）となり、2億21百万円の営業利益（前年同期比1億32百万円増）となりました。また、経常利益は2億18百万円（前年同期比1億19百万円増）となりました。これに、特別損失及び法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は1億51百万円（前年同期比1億17百万円増）となりました。

製品別業績の概況は、次のとおりであります。

（単位：千円）

製品別売上高	前中間連結会計期間 (2024. 4. 1～2024. 9. 30)		当中間連結会計期間 (2025. 4. 1～2025. 9. 30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	4,799,895	88.8	4,882,167	89.7	82,272	101.7
惣菜	252,856	4.7	233,009	4.3	△19,847	92.2
地域商品	191,402	3.5	176,701	3.2	△14,700	92.3
非常食	118,513	2.2	80,386	1.5	△38,126	67.8
配慮食（食物アレルギー・減塩他）	20,501	0.4	27,688	0.5	7,187	135.1
その他	20,516	0.4	40,700	0.8	20,184	198.4
合計	5,403,683	100.0	5,440,655	100.0	36,971	100.7

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は79億65百万円（前連結会計年度末比3億8百万円増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加96百万円、売掛金の増加65百万円、投資有価証券の増加1億48百万円であります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は39億40百万円（前連結会計年度末比1億34百万円増）となりました。主な要因は、買掛金の増加68百万円、未払法人税等の増加51百万円であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は40億24百万円（前連結会計年度末比1億73百万円増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加85百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億1百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は19億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は3億59百万円（前年同期は2億56百万円の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益の計上、減価償却費の計上、売上債権の増加、棚卸資産の増加、仕入債務の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は1億86百万円（前年同期は3億22百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は76百万円（前年同期は77百万円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払額であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想については、最近の業績の動向を踏まえ、2025年5月15日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,912,391	2,008,995
売掛金	1,464,537	1,529,613
商品及び製品	142,941	158,111
仕掛品	5,404	9,206
原材料及び貯蔵品	216,275	241,980
その他	120,943	84,451
流動資産合計	3,862,495	4,032,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	518,171	501,177
機械装置及び運搬具（純額）	893,707	916,895
工具、器具及び備品（純額）	35,982	35,649
土地	809,029	809,029
リース資産（純額）	84,339	75,080
建設仮勘定	64,999	62,921
有形固定資産合計	2,406,229	2,400,753
無形固定資産	476,370	471,416
投資その他の資産		
投資有価証券	777,918	926,851
その他	179,190	178,838
貸倒引当金	△45,200	△45,200
投資その他の資産合計	911,909	1,060,490
固定資産合計	3,794,509	3,932,660
資産合計	7,657,004	7,965,019
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,926	382,647
短期借入金	1,900,000	1,900,000
未払費用	649,703	655,141
契約負債	—	3,280
賞与引当金	93,191	95,029
未払法人税等	27,703	78,728
その他	206,522	161,944
流動負債合計	3,191,047	3,276,772
固定負債		
リース債務	72,941	62,694
退職給付に係る負債	495,736	509,063
資産除去債務	22,740	22,752
その他	22,871	69,035
固定負債合計	614,289	663,546
負債合計	3,805,336	3,940,319

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,255,314	2,340,569
自己株式	△376,102	△376,125
株主資本合計	3,471,613	3,556,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264,812	366,362
退職給付に係る調整累計額	115,242	101,492
その他の包括利益累計額合計	380,054	467,854
純資産合計	3,851,667	4,024,700
負債純資産合計	7,657,004	7,965,019

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	5,403,683	5,440,655
売上原価	3,630,177	3,515,434
売上総利益	1,773,506	1,925,220
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	392,190	379,912
退職給付費用	37,823	20,805
賞与引当金繰入額	42,242	42,735
支払手数料	243,009	272,702
運搬費	337,192	337,861
販売促進費	38,096	32,380
その他	594,567	617,767
販売費及び一般管理費合計	1,685,123	1,704,165
営業利益	88,383	221,054
営業外収益		
受取利息	180	699
受取配当金	994	1,505
受取賃貸料	2,563	2,037
廃油売却益	12,493	—
その他	5,532	3,344
営業外収益合計	21,764	7,587
営業外費用		
支払利息	6,126	9,662
棚卸資産廃棄損	5,390	—
その他	51	546
営業外費用合計	11,568	10,209
経常利益	98,579	218,433
特別利益		
固定資産売却益	23,000	—
特別利益合計	23,000	—
特別損失		
固定資産処分損	2,145	4,972
減損損失	13,098	1,465
特別損失合計	15,243	6,438
税金等調整前中間純利益	106,335	211,994
法人税等	71,794	60,151
中間純利益	34,540	151,842
親会社株主に帰属する中間純利益	34,540	151,842

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	34,540	151,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,361	101,550
退職給付に係る調整額	22,209	△13,750
その他の包括利益合計	△5,152	87,800
中間包括利益	29,388	239,642
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	29,388	239,642
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	106,335	211,994
減価償却費	180,373	201,602
賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,886	1,837
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	37,467	△422
受取利息及び受取配当金	△1,175	△2,205
支払利息	6,126	9,662
固定資産売却損益（△は益）	△23,000	—
固定資産処分損益（△は益）	2,145	4,972
減損損失	13,098	1,465
売上債権の増減額（△は増加）	174,341	△65,075
棚卸資産の増減額（△は増加）	△86,880	△44,676
仕入債務の増減額（△は減少）	△220,004	68,720
契約負債の増減額（△は減少）	—	3,280
未払法人税等（外形標準課税）の増減額 （△は減少）	△1,443	457
未払又は未収消費税等の増減額	24,514	△6,012
その他	△409,063	△20,099
小計	△209,049	365,503
利息及び配当金の受取額	10,015	13,039
利息の支払額	△6,126	△9,630
法人税等の還付額	—	4,112
法人税等の支払額	△51,623	△13,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	△256,785	359,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△276,462	△178,308
有形固定資産の売却による収入	23,000	—
無形固定資産の取得による支出	△55,405	△57,387
投資有価証券の取得による支出	△10,954	△986
補助金の受取額	—	50,000
その他	△2,769	91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322,592	△186,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△23
短期借入れによる収入	500,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△500,000
リース債務の返済による支出	△11,108	△10,588
配当金の支払額	△66,708	△66,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,816	△76,649
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△657,194	96,604
現金及び現金同等物の期首残高	2,458,313	1,812,391
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,801,119	1,908,995

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。